

SOX (Sarbanes-Oxley) プラグイン

米国企業改革法（サーベインズ オクスリー法）は、コーポレート ガバナンスと財務情報の開示に影響を与える米国証券法の画期的な部分です。その要求に応ずるために、ビジネス プロセス フローは、コンプライアンス分析を考慮した情報を装備する必要があります。

SOX プラグインについて

SOX プラグインは、点検画面、定義エディタのセット、そして、コンプライアンス レポートを Microsoft Excel に出力するレポート作成から成っています。

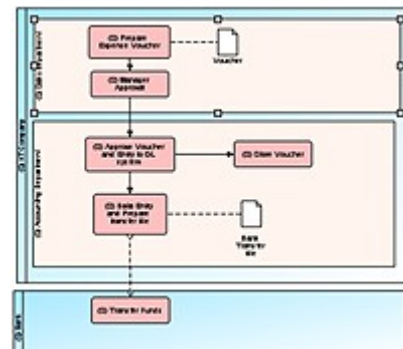
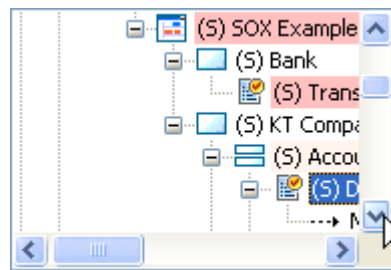
点検画面を使用して、SOX 情報をプロセスモデルへ追加、編集できます。

ダイアグラム エディタ、またはワークスペース ナビゲータで選定するとき、SOX 点検は選択されたオブジェクトに付随するあらゆる SOX 情報を表示します。

ダイアグラム エディタを使用する、しないにかかわらず、SOX プラグインを操作できます。

点検画面で加えられた情報は、プロセスモデルの一部となり、プロセスモデルが保存されるときに一緒に保存されます。

SOX プラグインは、ActiveModeler Advantage へのアドオンで、SOX コンプライアンスおよびコントロール情報を BPMN プロセスモデルに装備するためのツール セットを提供します。



SOX 点検

アクティビティの記述 リスク

リスク	コード	タイプ
契約内容と整合し...	1	セキュ
事業部の営業...	F62F...	手動
受注入力部門...	917D...	手動
受注計上の手...	F87E...	手動
営業システムの...	6E16...	自動
EDI取引の場...	CA3...	自動

削除 CP... リスク追加

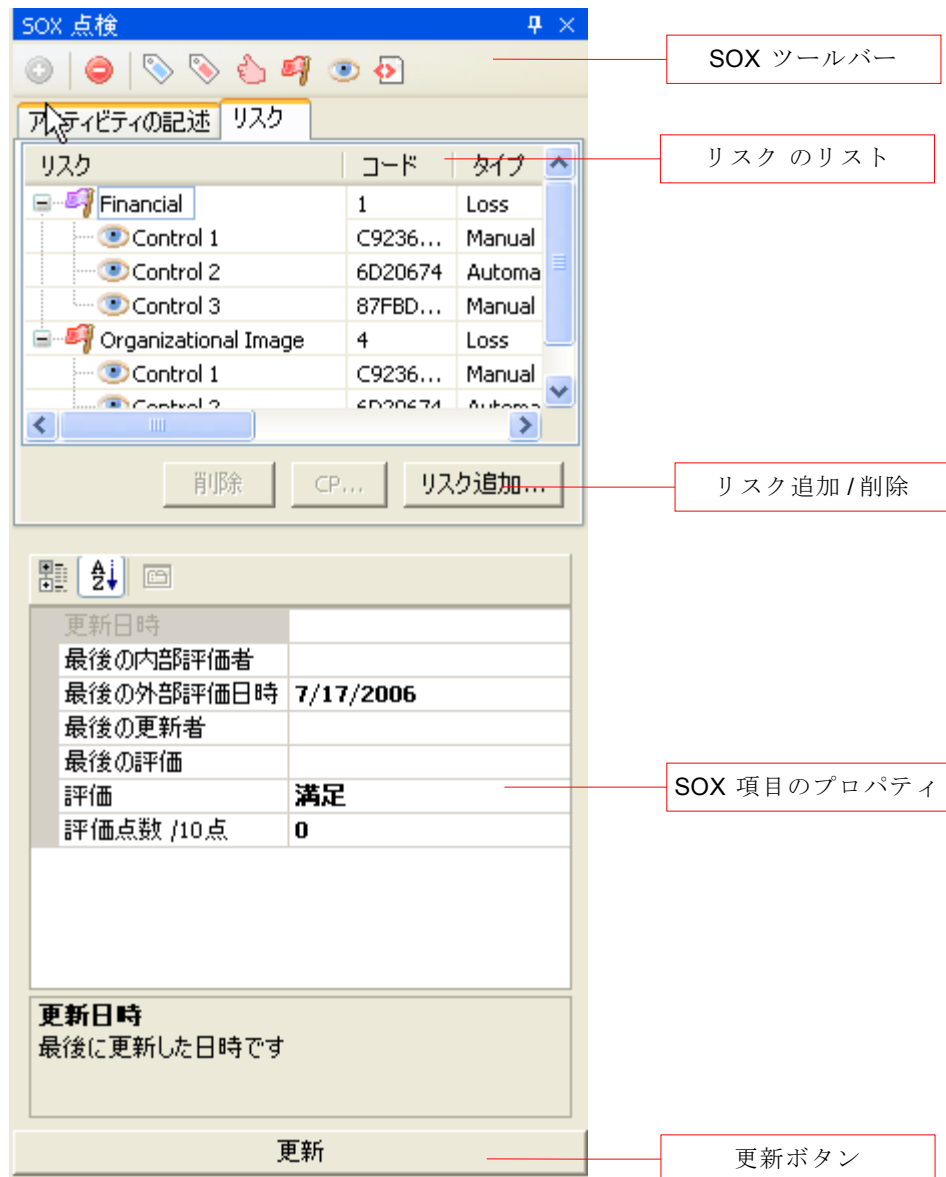
更新日時	2006/07/24 16:42
最後の外部評価	
最後の更新者	Geoffrey (KAISH)
最後の内部評価:	
最後の評価	
評価	満足
評価点数 /10点	0

SOX 点検

[表示]メニューから [SOX 点検]を選択すると、[SOX 点検]ダイアログが表示されます。

注：コンピュータに SOX プラグインがインストールされていない場合は、このメニューは表示されません。

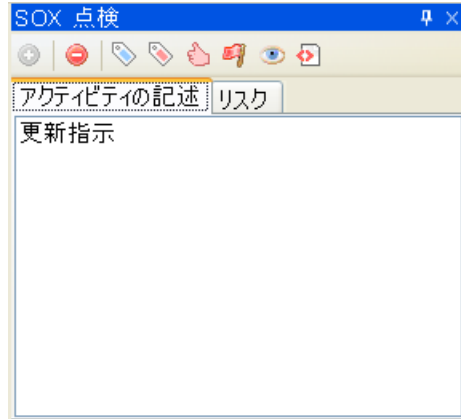
Figure 1. SOX 点検ダイアログ



アクティビティの記述タブ

このタブは最初に、BPMN オブジェクトの見出しを表示します。ここに付加的なテキストを加え、アクティビティの本質についてさらに詳細に説明することができます。

Figure 2. アクティビティ記述タブ

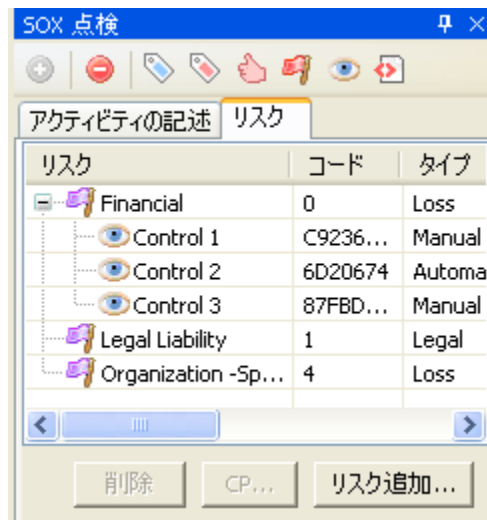


注: プラグインは、このフィールドが空白であることを容認しません。テキストをクリアすると、関連する BPMN オブジェクトの名前に自動的にリセットされます。

リスク タブ

このタブは、選択された BPMN プロセス エンティティに関連するリスクを表示します。[リスク追加...], [削除] ボタンを使用して、リスクの追加および削除ができます。

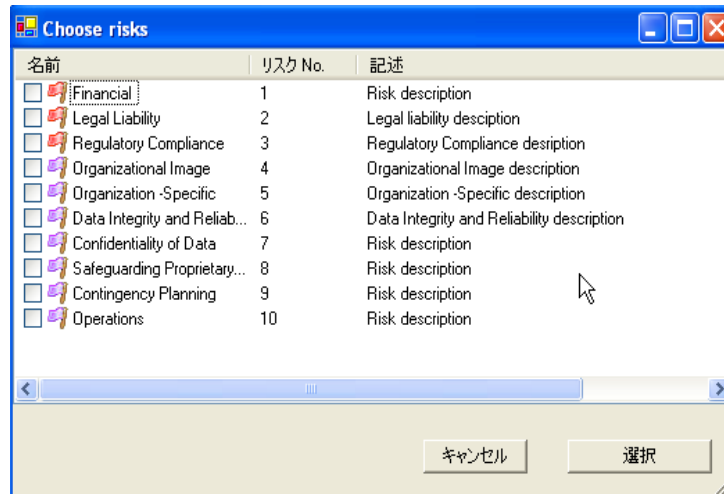
Figure 3. リスク タブ



リスクを追加する

リスクを追加するには、[リスク追加...] ボタンをクリックします。リスクを選択するためのダイアログが表示されます。選択したリスクにコントロール項目の定義が含まれている場合は、リスク表の中にそれらも(リスクの子として)表示されます。これらの「設計に含まれる」コントロール項目を、リスク インスタンスから削除することはできません。

Figure 4. リスク選択ダイアログ



[リスク選択]ダイアログは、現在定義されているリスクのすべてを表示します。チェックボックスをチェックして、1つ、または、複数のリスクを SOX 項目に追加できます。

リスク、コントロール項目を削除する

SOX 点検で項目を選択し、[削除]ボタンをクリックします。選択項目が、リスク エディタでそのリスクのために設計されたものでなければ、コントロール項目を削除することができます。

コントロール項目を追加する

[CP]ボタンをクリックして、コントロール項目表からリスク インスタンスに任意のコントロール項目を割り当てることができます。

SOX 項目のプロパティ

SOX 用に装備されたそれぞれの BPMN オブジェクトに対し、データのポケットが作成されます。この情報のポケットは、Xml 形式でコード化された文字列として、名前のついた BPMN のプロパティに保存されます。以下のプロパティは、SOX 項目全体の説明です。

実際の評価

レビューのときに項目に課された評価です。プラグインは、あらかじめ定義された基本的な評価(満足、不満足、部分的に満足)を提供します。評価エディタを使って、評価を追加定義することができます。

評価点数 (/10)

総合的な評価点が {0 - 10} の数値で項目に課されます。

最後の外部評価

外部の公認評価者が最後にコントロールを評価した日です。

最後の内部評価

委任された職員が最後にコントロールを評価した日です。

最後の内部評価者

内部評価者の ID です。従業員番号、イニシャル、E メールアドレス、システムのユーザー名などで表されます。

最後の更新

コントロール項目をアップデートしてプロセスモデルに戻した日時です。[SOX 点検]の[更新]ボタンをクリックすると、このフィールドに自動刻印されます。

最後の評価者

Avantage セッションを実行している人の Windows のユーザー名とドメインです。「ユーザー名(ドメイン)」のフォーマットで、このフィールドに自動刻印されます。

SOX プラグインを使用する

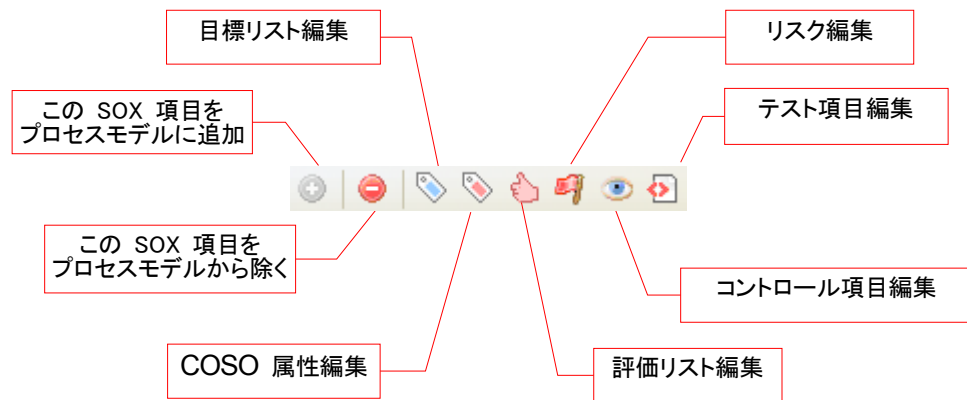
SOX コントロール情報を、ダイアグラム、プール、スイムレーン、タスク、そして、サブプロセスのオブジェクトに追加することができます。SOX コントロールの候補ではないオブジェクトを選択すると、[SOX 点検]画面はblankで表示されます。

選択された BPMN オブジェクトが SOX コントロール情報を持たない場合は、ツールバーの[SOX データを添付]ボタンが有効になります。このボタンをクリックすると、そのオブジェクトが、SOX 対応可となります。

オブジェクトから SOX 記録を取り除くには、ツールバーの[SOX データを取り除く]ボタンをクリックします。

選択された BPMN オブジェクトに SOX 情報を書き込むには、([SOX 点検]画面の下部にある)[更新]ボタンをクリックします。

Figure 5. SOX 点検ツールバー



更新ボタン

[更新]ボタンをクリックすると、BPMN プロセス エンティティが「点検」に入力されたデータでアップデートされます。このボタンをクリックしない限り、データは、プロセスモデルと永久に関連しません。

評価エディタ

Figure 6. 評価リスト エディタ

評価	記述
満足	
やや満足	
普通	新規項目の記述
不満	新規項目の記述

デフォルトで、事前に定義された3つの評価(満足、不満、やや満足)が用意されています。

自分自身の評価を追加定義することができます。

EXCEL レポート作成ルーチンは、それに従って、セルを評定する事前に定義された評価と色がないかどうかチェックします。これら3つのアイテムを変更するか、または削除した場合、彩色は適用されなくなります。

追加

[追加]ボタンをクリックします。

削除

評価項目を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

編集する

セルをダブルクリックして、テキストをそのセルに直接入力します。

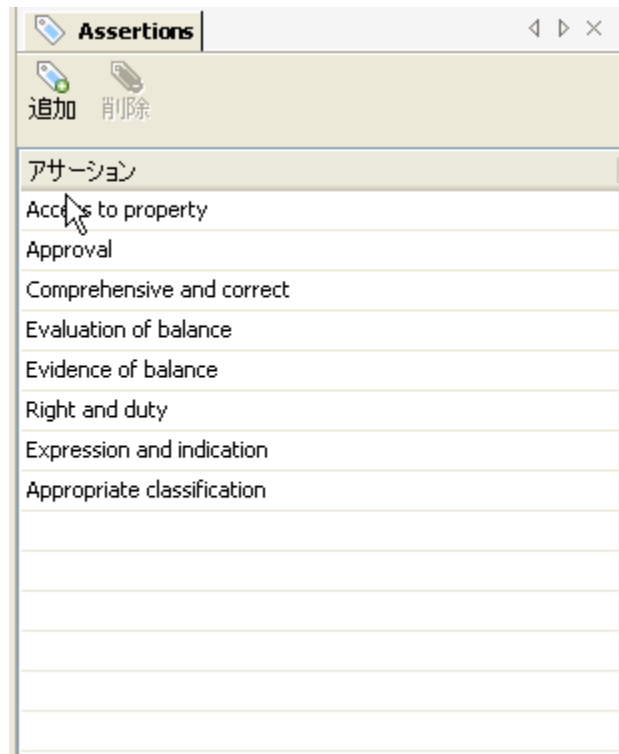
保存

[ファイル]メニューから[保存]を選択、[Ctrl] + S キー、または、エディタを閉じるときに表示されるプロンプトで、[はい]をクリックします。

アサーション エディタ

Figure 7. アサーション リスト

アサーションは、リスクに関連しており、リスクの評価基準の基盤を形成します。



追加

[追加]ボタンをクリックします。

削除

アサーションの項目を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

編集する

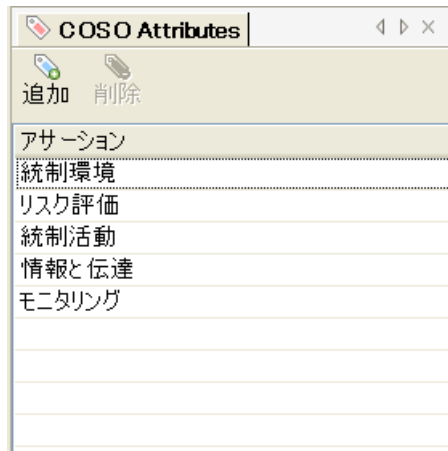
セルをダブルクリックして、テキストをそのセルに直接入力します。

保存

[ファイル]メニューから[保存]を選択、[Ctrl] + S キー、または、エディタを閉じるときに表示されるプロンプトで、[はい]をクリックします。

COSO 属性エディタ

Figure 8. COSO テーブル エディタ



COSO 属性は、コントロール項目に関連しており、コントロール項目が管理している基準を示します。

追加

[追加]ボタンをクリックします。

削除

属性の項目を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

編集する

セルをダブルクリックして、テキストをそのセルに直接入力します。

保存

[ファイル]メニューから[保存]を選択、[Ctrl] + S キー、または、エディタを閉じるときに表示されるプロンプトで、[はい]をクリックします。

リスク エディタ

Figure 9. リスク表

The screenshot shows the 'Risks*' window with a table of risks and a section for assertions. The table has columns for Risk ID, Name, Type, Importance, and CP. The assertions section has a tab for 'Risk documentation' and a list of assertion types with checkboxes.

リスク...	名前	タイプ	重要度	CP
1	Financial	セキュリティ	高	
				C923
				6D20
				87FB
2	Legal Liability	調停	高	
3	Regulatory Complia...	供給停止	高	
4	Organizational Ima...	Loss	低	
				C923
				6D20
5	Organization -Speci...	セキュリティ	中	
6	Data Integrity and...	調停	高	
7	Confidentiality of D...	セキュリティ	High	

Assertions (Risk documentation):

- Access to property
- Approval
- Comprehensive and correct
- Evaluation of balance
- Evidence of balance
- Right and duty
- Expression and indication
- Appropriate classification

リスク エディタは、リスクを定義するために使用されます。各リスクに対し、リスクをどう管理するかを記述した、相当するコントロール項目のセットがあります。

アサーション: アサーションの項目にチェックをつけ、選択したリスクにそのアサーションを追加します。項目のチェックを外すと、リスクからそのアサーションを外します。アサーションは、アサーションエディタによって定義されます。

リスク エディタには、上下 2 つのセクションがあります。上のセクションは、現在のリスクのセットとそのコントロール項目を表示します。下のセクションは、選択されたリスクに関するアサーションとドキュメンテーションを表示します。

追加

リスク表に新しいリスクを追加するには、[追加]ボタンをクリックします。

コントロール項目を追加する

リスクが選択されているとき、コントロール項目の[追加]ボタンをクリックすると、コントロールの項目表から 1 つ以上のコントロール項目を選ぶことができるダイアログボックスが表示されます。選択されたコントロール項目は、選択されたリスクのサブエントリとしてテーブルに加えられます。

削除

コントロール項目が選択されているときに[削除]ボタンを押すと、リスクからそのコントロール項目を削除します。リスクが選択されている場合は、そのリスク(および、そのコントロール項目のサブ エントリのすべて)が削除されます。

タイプ

[タイプ]ドロップダウンには、あらかじめ定義されたリスクのタイプが含まれています。

重要度

[重要度]ドロップダウンには、あらかじめ定義された重要度(高、中、低)が含まれています。

記述する

ここに短いテキストを入力して、リスクの説明をします。この記述は、SOX レポートに出力されます。詳述を加えるには、エディタのドキュメンテーション パネルを使用します。

編集する

セルをダブルクリックして、テキストをそのセルに直接入力します。コントロール項目のエントリに変更を加えることはできません。(変更するには、コントロール項目エディタを使います。)

保存

[ファイル]メニューから[保存]を選択、[Ctrl] + S キー、または、エディタを閉じるときに表示されるプロンプトで、[はい]をクリックします。

ドキュメンテーション

ドキュメンテーション画面は、フォーマットやハイパーリンクを入れることができる RTF (リッチ テキスト フォーマット) テキストです。Microsoft Word、Open Office、または、他のあらゆる RTF に適するアプリケーションから、フォーマット済みのテキストをこのフィールドに貼り付けることができます。

ハイパーリンクを入れるには、テキストに直接 URL を入力します。テキストには自動的にアンダーラインが引かれ、リンクをアクティブにします。そのリンクをクリックし、Web ブラウザで開くことができます。

たとえば、ある特定のリスクに対する企業ポリシーとのリンクをここに入れることができます。

コントロール項目エディタ

Figure 10. コントロール項目リスト



コントロール項目 エディタは、コントロール項目を定義するために使用されます。各コントロール項目に対し、コントロール項目をどう管理するかを記述した、相当するテスト項目のセットがある場合があります。

COSO の属性: 属性の項目にチェックをつけ、選択したコントロール項目にその属性を追加します。項目のチェックを外すと、コントロール項目からその属性を取り除きます。

COSO の属性は、COSO の属性エディタによって定義されます。

コントロール項目エディタで、構築されたコントロール項目の作成と変更ができます。コントロール項目は、1つ、またはそれ以上のテスト項目と関連させることができます。

追加

[追加]ボタンをクリックします。新しく構築された項目が作成されます。

テスト項目を追加する

最初に、主となる項目を選択する必要があります。それから、[テスト項目を加える]ボタンをクリックします。1つ以上のテストを選ぶことができる[テスト項目]ダイアログが表示されます。選択されたテストは、サブ エントリとして先に選択された主となる項目の下に加えられます。

削除

項目を選択し、[削除]ボタンをクリックします。選択された項目がテスト項目であれば、それが削除されます。選択された行が主となる項目の場合は、主項目と、テスト項目のすべてが取り除かれます。

編集する

セルをダブルクリックして、テキストをそのセルに直接入力します。

保存

[ファイル]メニューから[保存]を選択、[Ctrl] + S キー、または、エディタを閉じるときに表示されるプロンプトで、[はい]をクリックします。

コントロール項目のプロパティ

項目

コントロール項目の名前です。

コード

コントロール項目を一意に特定するのに使用できる文字列です。デフォルトで、SOX プラグインは自動的に一意のコードをここに挿入しますが、コード値はプラグインによって使用されないため、変えたい場合は変更することができます。コードは、SOX プロジェクトのあらゆる目的に使うことができます。例えば、コードは、照会またはデータベース検索フィールドに使用できます。

頻度



ドロップダウンリストから、[頻度]を選択します。

注: リストに該当する頻度がない場合は、テキストをフィールドに直接入力します。

タイプ

コントロール項目は、手動か自動、どちらかの可能性があります。もし、プロセスが自動であれば、コントロールを実行するのにワークフロー処理が使われます。

ワークフロー URL

自動コントロール項目に対し、そのコントロールを実行するワークフロー処理を示します。

テスト

コントロール項目には、それに関連するいくつかのテストがあるかもしれません。このプロパティは、それぞれのテストの名前を含んでいます。

記述

コントロール項目の短い説明文です。この説明文は、SOX マトリックス レポートに記載されます。

ドキュメンテーション

ドキュメンテーション画面は、フォーマットやハイパーリンクを入れることができる RTF (リッチ テキスト フォーマット) テキストです。Microsoft Word、Open Office、または、他のあらゆる RTF に適するアプリケーションから、フォーマット済みのテキストをこのフィールドに貼り付けることができます。

ハイパーリンクを入れるには、テキストに直接 URL を入力します。テキストには自動的にアンダーラインが引かれ、リンクをアクティブにします。そのリンクをクリックし、ウェブ ブラウザで開くことができます。

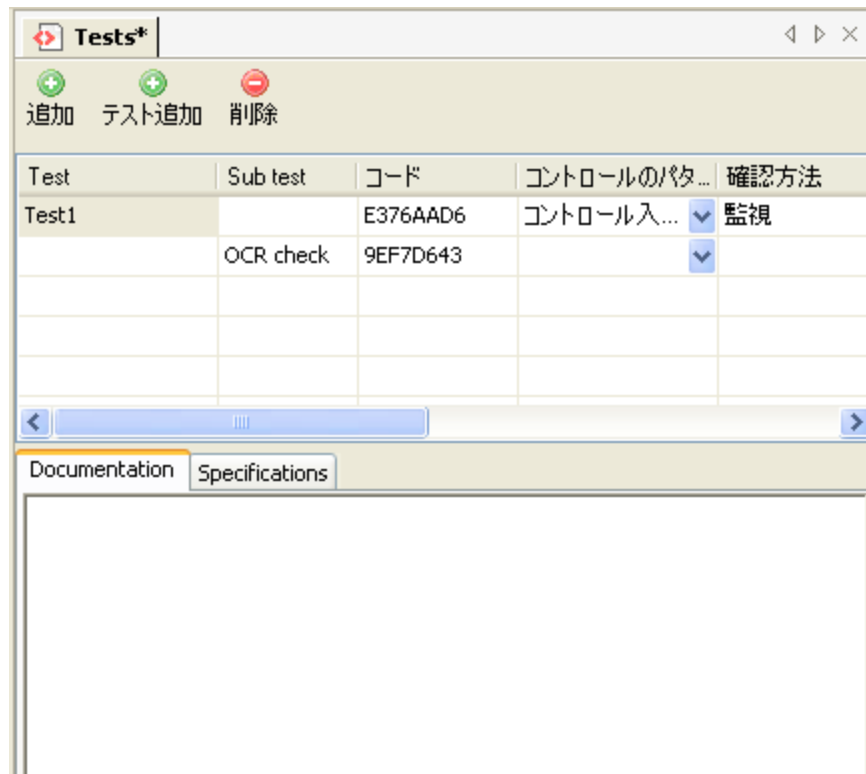
注: プラグインは、このコードの一意性を強要しませんが、プラグインによって生成された初期コードは一意です。

SOX PLUG IN GUIDE

例えば、ある特定のコントロール項目に対する企業ポリシーとのリンクをここに入れることができます。

テスト項目エディタ

Figure 11. 弱点項目のリスト



テスト項目エディタで、テスト項目の作成と変更ができます。テスト項目は、「テスト」と多くの「サブ テスト」から成る 2 層のエントリです。テストとサブ テストは、外部エンティティとの関係を可能にする一意のコードを持っています。

追加

[追加] ボタンをクリックします。新しいテスト手段が追加されます。

サブ項目を追加する

最初に、主となるテスト項目を選択する必要があります。それから、「サブ項目を加える」ボタンをクリックします。選択されたテスト項目の下に、新しいサブ テストが加えられます。

削除

項目を選択し、[削除] ボタンをクリックします。選択された項目がサブ テストであれば、それが削除されます。選択された行が主となるテストの場合は、主テストとそのサブ項目のすべてが削除されます。

編集する

セルをダブルクリックして、テキストをそのセルに直接入力します。

保存

[ファイル]メニューから[保存]を選択、[Ctrl] + S キー、または、エディタを閉じるときに表示されるプロンプトで、[はい]をクリックします。

テスト項目のプロパティ

テスト

テストの名前です。例: 「テスト 1」

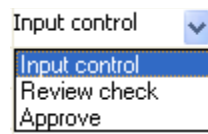
サブ テスト

サブ テストの名前です。例: 「ステップ 1」

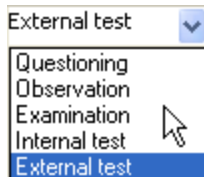
コード

コントロール項目を一意に特定するのに使用できる文字列です。デフォルトで、SOX プラグインは自動的に一意のコードをここに挿入しますが、コード値はプラグインによって使用されないため、変えたい場合は変更することができます。コードは、SOX プロジェクトのあらゆる目的に使うことができます。例えば、コードは、照会またはデータベース検索フィールドに使用できます。

コントロールのパターン



確認方法



サンプル数

テストが適用される代表サンプルの数です。

記述

テストの短い説明文です。この情報は、EXCEL のマトリックス レポートに記載されます。

ドキュメンテーション

テストの詳細、URL へのハイパーリンク、または、テストを説明するドキュメントを入れることができる RTF (リッチ テキスト フォーマット) テキストです。

仕様

RTF 形式のテキストです。テストがテクニカルな性質のものである場合は、仕様自体、または、仕様へのリンクのどちらかをここに置くことができます。

注: プラグインは、このコードの一意性を強要しませんが、プラグインによって生成された初期コードは一意です。

コンプライアンス マトリックスを作成する

コンプライアンス マトリックスは、Microsoft Excel で作成されるレポートです。コンプライアンス マトリックスを作成するには、Excel 10 (Office XP) またはそれ以降のバージョンがコンピュータにインストールされている必要があります。

何についてレポートするかを選択する

SOX コントロール情報を含む BPMN オブジェクトを選択すると、メイン メニュー バーの、[分析] - [SOX マトリックス] メニューが有効になります。

選択は、ダイアグラム エディタ ウィンドウよりも、ナビゲータ ツリーを使うほうが適しています。BP ダイアグラムより上層のオブジェクトから、レポートを作成する必要が何度もあるからです。(例えば、プロセスモデル全体の SOX マトリックスを作成、または、「To be」測定項目にあるすべてのダイアグラムのレポートが欲しい場合など、ダイアグラム エディタ ウィンドウから選択してレポートを作成することはできません。)

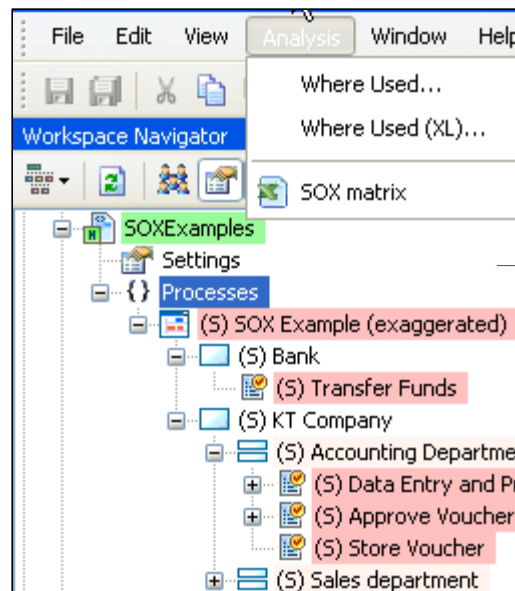
モデル(.model)ファイル、測定項目、ダイアグラム、プール、スイムレーン、サブ プロセス、または、タスクのいずれかが選択されているときには、SOX レポート メニューを有効にすることができます。

選択されたオブジェクト自体、または、その子のオブジェクトのどれかに SOX 情報を含んでいない限り、メニューはグレー(無効)表示されます。

報告書作成は、現在選択されているところから、プロセスモデルを上層から下層へ、ドリルダウンします。

SOX データを含む BPMN オブジェクトだけが、レポートに含まれます。

直接または間接的に装備された BPMN オブジェクトを含む、(ダイアグラム、プール、レーン、サブ プロセスのような) BPMN コンテナ オブジェクトが、マトリックスの Container Break エントリーを使用しながら、マトリックスに BPMN オブジェクトを表示します。
[ユーザー設定] 画面で、Container Breaks の外観を変えることができます。



Selection here will report on all SOX instrumented objects in "Processes"

SOX PLUGIN GUIDE

報告書作成は、直接 Excel へ出力します (そのため、Excel がインストールされていることが必要です)。各レポートは、SOX マトリックス操作を実行するたびに、Excel ワークブックに新しいワークシートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI			
	Process Content				Scoring		Risk name						Assertions										COSO						Control									
	Location				Actual rating	Evaluation /10	Risk #	Risk name	Kind	Importance	Description	Access to property	Approval	Impehensive and correct	Evidence of balance	Evidence of balance	Right and duty	Apperition and indication	Appropriate classification	Mitration and communication	Control activity	Control environment	Monitoring	Risk assessment	Employee activity	Name	ID/Code	Type	Frequency	Description	Start worklow	Test	Code	Sub Test	Control Pattern			
1	SOX Example (unassigned)																																					
2	Diagram	Pool	Lane	Process entity																																		
3																																						
4																																						
5																																						
6																																						
7																																						
8																																						
9																																						
10																																						
11																																						
12																																						
13																																						
14																																						
15																																						
16																																						
17																																						
18																																						
19																																						
20																																						
21																																						
22																																						
23																																						
24																																						
25																																						
26																																						
27																																						
28																																						

定義ファイル

プラグインは、特別なセットアップの必要なしに、すぐに使用できるよう設計されています。プラグインを、チーム/ワークグループ環境で使用する場合は、少したけセットアップが必要です。

パーソナル ワークスペースの定義

デフォルトで、プラグインは、ユーザーの「パーソナル(個人的)な」ワークスペース ストレージに、1セットの定義ファイルを作成します。例えば、“tanaka” という名前のユーザーの個人的な項目が、ここに保存されます:

```
C:\Documents and Settings\tanaka\Application
Data\Kaisha-Tec\Avantage\Plugins\KT.AM.SOXC
```

ユーザーのパーソナル ワークスペースの定義は、個々のプロジェクト ベースで書ききれない限り、ユーザーのプロジェクトのすべてで使用されます。

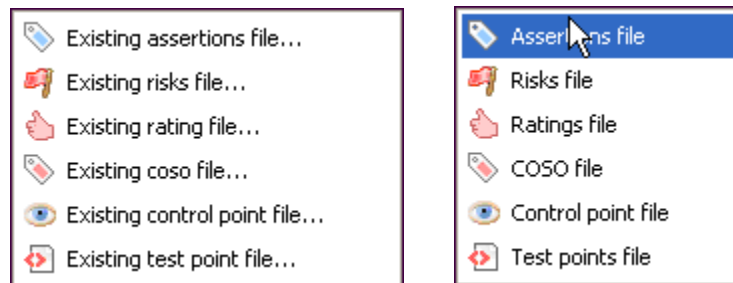
ユーザーがチーム内で作業を行う、または、SOX プロセスモデルを他の人と共有する計画のある場合は、チームメンバー全員が同じ定義で作業をすることが必要です。この場合、定義は、(リポジトリが管理できるように)プロジェクト自体に入れる必要があります。

プロジェクト ベースでの定義

ワークスペース ナビゲータのプロジェクトのアイコン上で右クリックし、[新規]または[追加]動作を選択して、新しい定義ファイルを作成、または既存の定義ファイルを追加することができます。

注: これらのファイルを表示するために、ユーザーのフォルダ オプションを「隠しファイル表示とフォルダを表示する」に設定する必要があります。

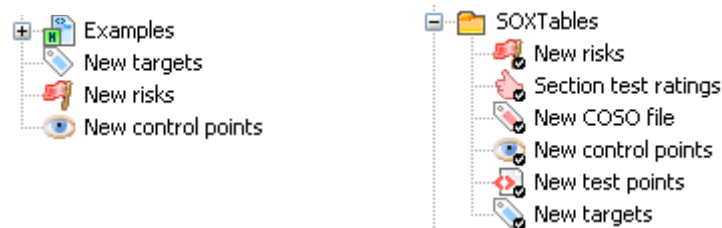
プロジェクト ベースの定義では、定義をプロジェクトと一緒に保持することができ、バックアップも同時にできるため、プロジェクトを基にした定義を常に使用することを勧めます。



「追加」コマンドは、コピー元となる既存のファイルの場所を表示します。このようにしてユーザーは、個人的な定義ファイルをプロジェクトにコピーすることができます。一方、「新規」コマンドでは、全く新しいファイルを作成します。

Figure 12. 定義ファイルは、プロジェクトのワークスペースに保存されます

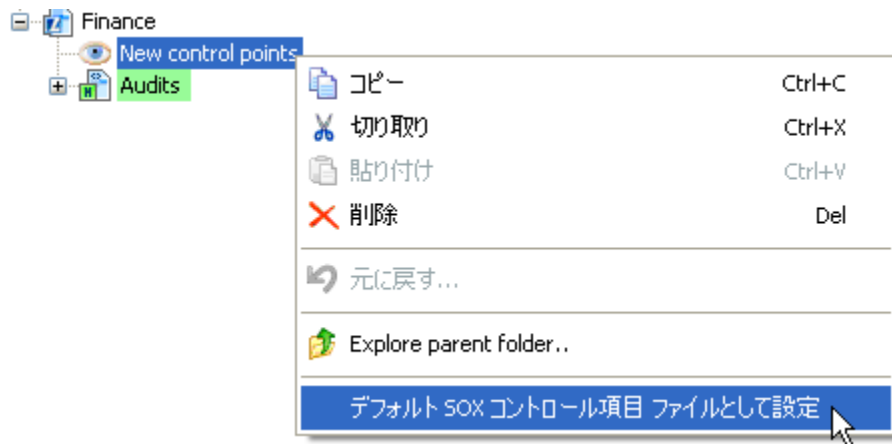
注：視覚的な乱雑さを最小限にするため、定義ファイルのすべてをプロジェクトの専用フォルダに入れることは、有用なアイデアです。



プロジェクトベースの定義を使用するようAvantageに強制する

定義ファイルが使用されるためには、そのファイルをプロジェクトにただ置くだけでは、十分ではありません。Avantageに、どのファイルがそのプロジェクトのデフォルトファイルとして使われるのかを明確に伝える必要があります。定義ファイルの上を右クリックし、[デフォルトとして設定]操作を選びます。

Figure 13. デフォルト操作の設定



この操作を選択した後、ファイルのアイコンは、プロジェクト内でこのタイプのデフォルトファイルであることを示すマーク (✓) がついて表示されます。

Figure 14. デフォルト マーク (✓) がついた定義ファイル

同じタイプの複数のファイルがある場合、この操作でデフォルトを切り換えることができます。例えば、実験用ファイルとプロダクションファイルを持つことができます。



SOX プラグインは、ユーザー個人の定義を使用する代わりに、このプロジェクト中のプロセスモデルを作動させているときにはいつも、この定義ファイルを使用します。

デフォルト項目上を右クリックし、次に、[デフォルトとして除く]操作を選ぶと、デフォルトのプロパティを OFF にすることができます。

デコレーション - ダイアグラムの SOX 項目を視覚的に表示する

SOX 項目を付随する BPMN オブジェクト用に、特別なラベル(接頭辞)と背景色を選ぶことができます。プロセス ダイアグラムとナビゲータで、オブジェクトを一目で容易に見分けることができます。

プール、レーン、サブ プロセス、および、タスク オブジェクトに対し、それぞれを表す色を指定できます。デフォルトで、色指定は無効になっています。

ラベルの接頭辞と指定色を変更するには、SOX Preferences ページにある、プロパティを編集します。

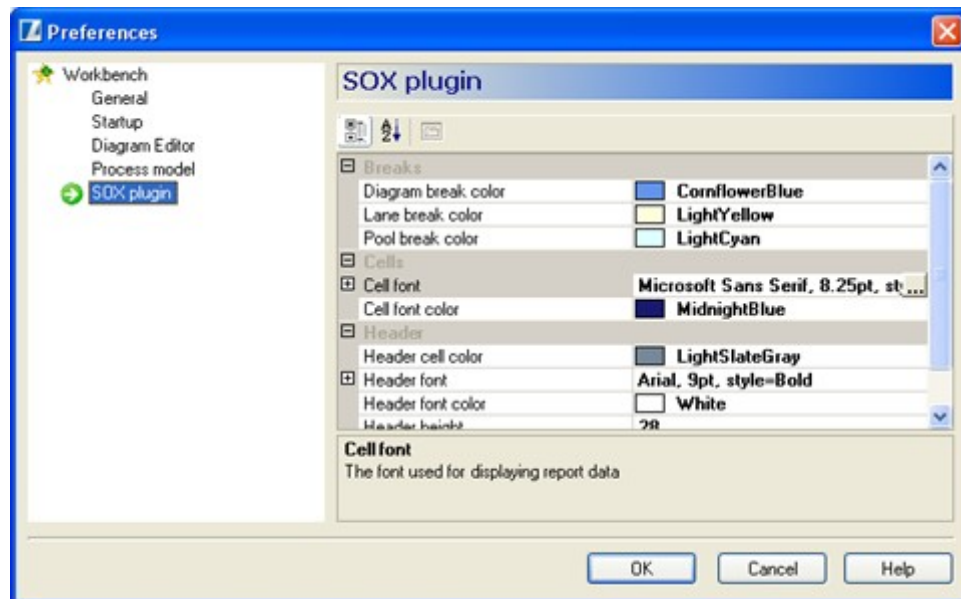
デフォルトのラベル接頭辞は(S)です。

指定色の効果を無効にするには、[透明]に設定します。

プラグイン Preferences

[ファイル]メニューから Preferences の項目を選択し、次に、Preference リストにある SOX プラグイン エントリをクリックします。

Figure 15. SOX Preferences 画面



これらの設定で、レポート作成時に使用されるデフォルトのフォント、カラー、および他のフォーマット情報を変更することができます。

SOX モジュール アーキテクチャ

SOX データは、SOX プラグインでオブジェクトを表す Xml 暗号データを含む「文字列」タイプの BPMN プロパティ オブジェクトとともに、プロセスモデルの BPO オブジェクトに添付されます。

Figure 16. SOX データと BPMN プロセスモデルの関連

